

優秀学生口頭発表賞

Z14-02-0945

セルラーゼ糖質結合モジュールとリグニン間相互作用部位の NMR による解析
(京都大学) ○徳永有希、大城理志、渡辺隆司、永田崇、近藤敬子、片平正人

① スライド作成で工夫した点

異なるバックグラウンドを持つ方にも理解して頂けるように、分野特有の専門用語や手法には図をつけて説明を補足した。また、文章を少なくし、図は多く用いることで視覚的にわかりやすいスライドを目指した。

② スピーチで工夫した点

本研究の特徴的な点を理解して頂きたかったため、導入部分にて過去の研究と比較しつつ本研究で新たに分かる点を明らかにした。一方で、発表時間が限られているため、各所の要点を中心に説明を行った。

③ 練習方法等

時間を計測しつつ声に出して練習を繰り返した。レーザーポインターを指す位置やアニメーションのタイミングなども考慮して、本番を意識した練習を行った。